

# 2023 New Year Jazz Concert

Jazzの本場NYでガッツリ活動しNYの洗礼を受けまくった日本人ジャズメンによるゴリゴリのJazzコンサート  
 このお正月、寒さと正月ホケを吹き飛ばす  
 熱い、そしてアツすぎるJazzをお届けする為に  
 NYから一時帰国中の尼崎出身、キョウヘイ庄本(Dr)を筆頭に  
 アルカイクホール・ミニにやってくる!  
 日本人の熱い志を持ったジャズ侍達の魂の音を聴き逃すな!



リーダー  
 (Dr) キョウヘイ庄本  
 From NY

(Ts) 佐藤 公淳  
 From 東京

(Ba) 山本 学

(P) 大友 孝彰  
 From 横浜

ゲスト  
 (MC) 牧野 篤史

## Kyohey Shomoto Quartet キョウヘイ庄本 カルテット

2023 1/8 (日) あましんアルカイクホール・ミニ  
 開場 15:30 開演 16:00 (全席自由)

一般チケット 前売り ¥3,500 円  
 当日 ¥4,000 円  
 学割チケット ¥2,000 円  
 (当日、学生証をご提示ください)  
 小学生以下 無料

チケット ◆kyowbomb0619@icloud.com (庄本まで)  
 申し込み ◆minnanohosokyoku2018@gmail.com (立石まで)  
 お問い合わせ ◆尼崎市総合文化センタープレイガイド 06-6487-0810



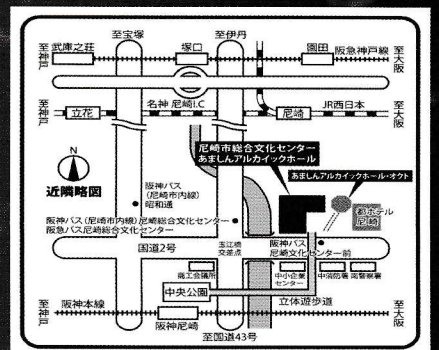
メールにて名前で受付後、当日、現金、クレジットカード、PayPay 払いも承っております。

こちらのQRコードからWeb決済も可能です。

主催：2023 New Year Jazz Concert  
 実行委員会  
 後援：尼崎市 / みんなの尼崎大学放送部



MAP



〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2丁目7-16 2階  
 阪神尼崎駅から北東に立体遊歩道で徒歩約5分  
<https://www.archaic.or.jp/>

# Kyohey Shomoto Quartet

## キョウヘイ庄本カルテット

1940年前半、Charlie Parker, Dizzy Gillespieらを筆頭に、ジャズのスタイルの一つ「Bebop」が誕生した。その後「Bebop」黄金期と呼ばれていた1950年代にかけ数々の名曲が生まれた。その「Bebop」をこよなく愛し、愛しすぎ、日本を飛び出し、Jazzの本場New Yorkの地で自分の求める音を本気で追求してきた男達による、魂の籠った名曲の数々をお届けします。



リーダー  
(Dr) キョウヘイ庄本  
From NY

1983年生まれ。兵庫県尼崎市出身 New Yorkより現在一時帰国中。Instagram @kyo\_newyork0619  
13歳よりドラムを始め、ロック、ファンク、ラテン、フュージョン、ジャズ等の様々なジャンルの音楽を経験。2011年冬、後の師となるNew York在住の世界的ジャズドラマー田井中福司氏の日本ツアーでのライブを見に行きそのプレイに衝撃を受け田井中福司氏に弟子入りする事を決意し2012年7月New Yorkへ単身渡米。無事に弟子入りを果たし、レッスンを受ける事が出来る。現地のジャムセッションへ参加し全く通用しない事を痛感しNew Yorkに住む事を決意し日本へ一旦帰国。2014年8月学生VISAを取得後、再びNew Yorkへ渡米。語学学校、レッスンに通いながら様々なセッションに参加。徐々に力をつけていく。2018年永住権取得後、今は無き「Cleopatra's Needle」にて毎週火曜のセッションホストを経験。同セッションにてJohnny O'Neal(P), Champion Fluton(P,Vo), Ben Paterson(P), Neal Miner(Ba), Paul Sikivie(Ba)等と共演。その他故Junior Mance(P)の長年のレギュラーベーシストでもあったHide Tanaka(Ba)をはじめ、Marc Devine(P), Michael Kanan(P) Steve Ash(P), Chris Johansen (Ts)等、色々な素晴らしいミュージシャンとGigで共演を経験。同年にはDenia Ridley(Vo), Marc Devine(P), Mark Nelms(Ba)らと共にテキサスへのツアーに参加、地元ジャズクラブ「Parker Jazz Club」に出演。地元オーディエンスから大好評を博す。2020年コロナのパンデミック頃から精力的に「Chris Johansen Trio」の一員として毎日のようにストリートで演奏し、その様子が現地の新聞記者の目にとまり「New York Magazine」「Intelligencer」「REAR ESTATE WEEKLY」に掲載される。またNY発の人気アパレルブランド「KITH」と「New York Yankees」のコラボ商品のモデルに選出され「KITH」の公式Instagramアカウントに自身の写真が掲載される。2021年には自身の新たなドラミングの可能性を広げる為Chet Baker(Tp), Stan Gets(Ts), Woody Herman(Cl)との共演で知られているレジェンドドラマーの一人、Jeff Brillinger(Dr)に師事。2022年6月より家庭の事情により一時帰国中。

1971年生まれ、東京都出身 HP <https://www.kojumato.com> (12月公開予定)

大学入学とともにジャズサクソフーンを始める。在学中に得たグラミー受賞者のJoe Henderson (Ts)との交流、その後、現在に至るまで多大な恩と影響を受けることとなる。Lew Tabackin (Ts, Fl)との出会い、そして期を同じくしての自身の失明をきっかけに、プロへの道を志すこととなる。

1999年、米国オハイオ州にあるオーバリン音楽院に単身留学し、Gary Bartz (As)に師事。ジャズ科サクソフーン専攻にて音楽学士号を習得。2004年New Yorkに転居し、翌2005年よりラトガーズ大学にてRalph Bowen (Ts)に師事。アメリカ、ヨーロッパなどのジャズクラブやコンサートホールをはじめ、New York地下鉄駅でのストリート演奏に至るまで様々な場所での演奏をこなし、多くの現地音楽家たちとの共演の機会を得る。2016年9月より17年間のアメリカ生活を経て、東京に拠点を移す。現在は自身のカルテット、クインテットを中核とし、様々な編成で演奏活動を行うほか、依頼に応じて個人・グループでのレッスンやワークショップも行っている。演奏はブルージーで豪快だが、スタイルはスウィング・



(Ts) 佐藤 公淳  
From 東京

バップから現代の技法を駆使してのノイズやフリーインプロビゼーションといった実験的な音楽まで幅広い。またジャズテナーの王道を行く音色はLou Donaldson (As)をはじめとしたNew Yorkのベテランミュージシャンたちからも高評価を得ている。また2019年からはテナーサクソフーンの安部徹氏を迎えたプロジェクトを始動、2022年にこれをThe Tenor Brotherhoodと銘打って活動範囲を広げている。ちなみに本人は上述にもある通り、1995年に失明した視覚障害者である。186cm 90kg 超えの日本人としては恵まれた体格で白杖をつきながら世界各国の街を自由に闊歩する姿は、行く先々で多くの人々から親しまれている。



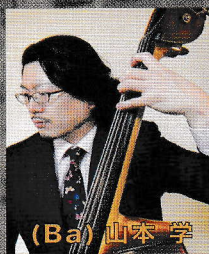
(P) 大友 孝彰  
From 横浜

1986年11月12日生まれ。 HP <http://www.takaakiotomo.com>

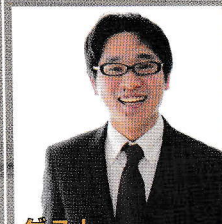
幼少からクラシックピアノを始め、15歳の頃Oscar Petersonの影響を受けジャズに転身。17歳から北野タダオ氏に師事。2007年「第1回神戸ネクストジャズコンペティション」でグランプリ受賞。2008年大友孝彰トリオでBillboard大阪に出演。2008年に自身初のリーダーアルバム「Nightmare」をリリース。2014年にNew Yorkに単身渡米し現地ミュージシャンとセッションを重ねる。Jazz at Kitano, St Peter's Church, Minton's, Blues Alley, 55barなどのジャズクラブで演奏する。2017年には自身2枚目のリーダーアルバム「New Kid In Town」をアメリカのレーベル「Albany Record」よりリリースし、ジャズウィークチャートでは最高11位を記録し各地で好評を得る。2018年には、アメリカを代表するジャズ雑誌「Downbeat magazine」にも取り上げられる。2020年12月より6年間のNew York生活から拠点を日本移し、自身のピアニストトリオなどを中心に、国内のジャズクラブで精力的に活動している。

1983年生まれ、神戸育ち大阪在住 ブログ <https://bassline.exblog.jp>

関西大学にてJazz研究会に入り演奏を始める。ウッドベースを井上幸祐に師事。また谷町9丁目のSUBでベーシストの西山満の下、音楽を学ぶ。大学在籍中からさまざまなミュージシャンとセッションやライブを重ね、卒業後は関西各地で演奏活動をおこなっている。近年では竹田一彦、藤井貞泰、宮岡信夫など関西の重鎮ミュージシャンと共演し、横尾昌二郎、杉山悟史、武藤浩司、橋本現輝らと同年代で結成された「The Seiryun Band」で活躍。また自身がリーダーを務め長年New Yorkで活躍するドラマー田井中福司を迎えライブを企画するなど幅広い年代とジャズライブを行なっている。2016年4月にリーダーアルバム「ねこ trio」をリリース。他多数レコーディングに参加。ダイナミックかつエネルギー溢れるプレイで今注目を集めている、多忙極めるベースプレイヤーである。



(Ba) 山本 学



ゲスト  
(MC) 牧野 篤史

大阪府豊中市出身、尼崎市在住。  
大学卒業後、会社員を経て、フリーアナウンサーとして独立。FM aiaiの他、FM COCOLO FM大阪などでDJ、ニュースアナを務める。  
現在はボイスタレントとしてラジオパーソナリティや披露宴・イベント司会、ナレーター、大手前短大や神戸電子専門学校などで非常勤講師なども務める。